

「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、 沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」の 撤回を求める陳情 活動報告書

1. 経過報告

- ①連合鳥取は2016年度運動方針に従い、国民運動局において、連合の4つの平和行動の沖縄については、「平和に関する現地学習会」と題して現場、現実を知る活動を行うこととした。
- ②その最中、2016年2月11日新聞紙面に、沖縄県名護市の一部市議が昨年（2015年）11月、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設推進を政府に求める意見書を採択するよう全国市区議会に求め、少なくとも16都県の19市区議会が趣旨に沿った意見書を可決していたことが報道された。その19市区議会の中に、鳥取市、倉吉市議会もそれぞれの意見書をまとめ、採択していたことが判明した。
- ③連合鳥取は、この間、現地沖縄の人たちと連帯し、米軍普天間飛行場の早期撤去をはじめとする米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しを求めている観点から、「一自治体が他の自治体に米軍基地移設を求めることは、地方自治の本旨に照らして妥当ではない」と考え、鳥取市議会（2016年3月1日）、倉吉市議会（2016年3月10日）に対し、この度の意見書に関し撤回を求める申し入れ書、問題点を広く周知する為の13項目の公開質問状を提出した。
- ④2016年3月7日、房安光鳥取市議会議員から「陳情受理から意見書提出に至るまで、地方自治法、鳥取市議会会議規則等に基づき適正に行われて機関意思を決定しており、意見書を撤回することはできない。意見書の撤回を求める請願又は陳情が提出されれば、議会で議論することとなる。公開質問状については、質問事項のそれぞれに鳥取市議会として統一した見解を出すことは困難でありお答えできない。」と回答があった。
- ⑤2016年3月16日には、高田周儀倉吉市議会議員から「総務経済常任委員会での審査を経て、本会議において賛成多数により採択可決され、政府への意見書提出に関し議案審議され、賛成多数で可決された。本市議会会議規則等に基づき議会としての意思を決定したものであり、これを撤回する必要はなく、質問事項に倉吉市議会の統一した見解を出すことは困難である。」と回答があった。
- ⑥2016年6月7日、倉吉市議会に対し、「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」の撤回を求める陳情書を提出した。

⑦2016年6月8日、鳥取市議会に対し、「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」の撤回を求める請願書を提出した。

⑧2016年6月16日 鳥取市議会「総務企画委員会」傍聴

⑨2016年6月22日 鳥取市議会「総務企画委員会」足立市議会議員(推薦)聞き取り

⑩2016年6月27日 鳥取市議会「定例会」傍聴
長坂市議会議員(推薦)賛成討論 不採択

⑪2016年6月27日 倉吉市議会「総務経済常任委員会」傍聴 否決

⑫2016年11月14日 鳥取、倉吉市議会議員全議員への公開質問状送付
(回答期日11月28日)

2016年11月14日

鳥取市議会議員 □□□□□ 様

倉吉市議会議員 □□□□□ 様

日本労働組合総連合会鳥取県連合会
会長 本川博孝

公開質問状

貴職におかれましては、日ごろから市民の安寧と地方自治の発展にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、昨年12月21日に衆議院議長、参議院議長、総理大臣、防衛大臣宛に提出された「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」(以下、「意見書」)について、この間、私たち連合鳥取は大きな関心を寄せるとともに注視をしてきました。

「意見書」は、普天間飛行場の危険性除去を言いながら、一貫して辺野古新基地建設を促進する文脈で貫かれており、看過できない内容と言わざるを得ないことから、本年3月1日、鳥取市議会議長に撤回していただくよう強く申し入れたところです。

また、「意見書」には、事実関係において疑義のある点もあり、公開質問状として数点にわたり質問項目も付記いたしましたが、「意見書」は撤回はできない、議会として統一見解は出せないのので、質問には答えない旨の返事がありました。

私たち連合鳥取は、この間、現地沖縄の人たちと連帯し、米軍普天間飛行場の早期撤去を求めてまいりました。

私たちは、沖縄の民意に寄り添い、沖縄県や名護市の地方自治の精神を尊重され、危険な米軍施設は国外退去、そして、県内移設によらない普天間基地の閉鎖・返還のために、正々堂々と米国政府にもの申される議員であると信じています。

そのため、議員お一人お一人の見解をお訊ねします。この間の議論経過や検討状況を広く市民に周知したいと考えますので、お手数ですが、下記事項に対して誠意をもってお答えいただき、11月28日（月）までに返信封筒にて同封の回答書によりお返事いただきますようお願いいたします。

記

【質問事項】

1. この意見書に賛成されましたか。反対されましたか。
2. この度の久辺3区への振興策に関して、補助金対象地域の恣意的な設定が憲法に定める「平等取扱いの原則」や「地方自治の本旨」に反していると思われませんでしたか。また、議会内で議論はありませんでしたか。
3. この度の久辺3区への振興策に関して、埋立承認代執行については係争中であることなど、様々な問題のある状況下で、一方の側の立場にたった意見書採択は、国会の議論なく進めている安倍政権の独善的政策に加担することになると思われませんでしたか。また、議会内で議論はありませんでしたか。
4. 米軍基地の移設を鳥取県内に計画した場合は賛成されますか。反対されますか。

以上

2. 各議員の返信回答内容 <別紙「公開質問状回答書 まとめ」参照>